

# 問題



この漫画のタイトルは1〜5のうちのだれだと思えますか？

○ 印を付けて下さい

1. 旨い汁を吸う
2. 旨かった牛負けた
3. 舌鼓を打つ
4. 異口同音
5. 花より団子

1. 聞くと見るとは大違い
2. 隣の花は赤い
3. 聞く耳持たぬ
4. 団栗の背競べ
5. 聞けば聞き腹



# お茶の楽しみ



## 聞き聞き腹ぼら



「どうなさったの？ あなた」  
 「今の仕事を辞める」  
 「えっ、学校をお辞めになるんですか？」  
 「そうだ」  
 「教職から離れるとおっしゃるんですか？」

「そうだ」  
 「どうしてですか？」  
 「毎朝、用務員の爺さんがお茶を淹れてくれるんだ」  
 「いいじゃありませんか」

「その爺さんは親指を半分以上お茶の中に入れて持ってくるんだ」  
 「なーんだ。ばかばかしい」  
 「ばかばかしいとは何だ！ それが昼弁当の時もなんだ」  
 「だったらお飲みにならないければよろしいでしょう」  
 「お茶なしで弁当が食えるか！」  
 名門校へ二〇年奉職した夫の顔をつくづくながめながら妻は溜息をつく。  
 まさに、聞けば聞き腹を絵にしたような話聞いたばかりに、その理由があまりに下らなすぎて腹が立った。  
 小学生のとき、先生が「国語のテストが〇点だった子が二人います。田中さんと川田くんです」と発表した。ぼくと川田くんを見てみんながドツと笑った。放課後、川田くんと一緒に帰りながら、「〇点だっていいんだ、ぼくは父さんの後を継いで大工になるんだから勉強なんか出来なくなつて」と言ったら、川田くんも「そーだよ、勉強なんか出来なくても親父の後を継げばいいんだから」と手を差しのべてきたので握手した。  
 「きみのお父さんも大工なの？」と訊いたら「大会社の社長なんだ」言ったので、ぼくと川田くんの間に深い溝ができた。聞かなかやよかった。

# お茶の楽しみ



# 異口同音



仲良し五人組の中でいちばん不細工なタミ子が恥ずかしそうに「あたし、彼氏ができた

の」と言った。(まさか)と四人は顔を見合わせた。が、(きつとどーしようもない)ブ男にちが

いない)と予想しながら「どんなタイプなの?」と訊くと、「不細工な、たいしたことない男よ」で、みんな(やっぱ)と納得した。が、連れてきたその男を見て四人は一斉に「ウツソウ」「信じらんない」「まさか」「そんなバカな」とのけ反った。言い方は古いが、錦絵から抜け出したような眉目秀麗な水もしたたる美男子だったから。  
この時の四人の口から出たのが、みんなが口をそろえて同じことを言う異口同音である。ことばは「ウツソウ」「信じらんない」「まさか」「そんなバカな」とちがっているが、言わんとするところは、「こんなブスが、こんないい男をつかまえるなんて世の中まちがっている」と一致しているから。  
選挙になると、街頭に立って声を囁らした立候補者の「税金は決して上げません、住みよい社会にします」に立ち会った聴衆の「信じられない」「騙されないぞ」「ごまかすな」「ウツつき」も、六〇に手の届く母親がミニスカートをはいたのを見た娘・息子・夫・舅姑の「みっともない」「やめて」「あたしが恥ずかしい」「何考えてんの」も異口同音である。だったら、ザルそばをすすする「ず」がハモっているのは異口同音であるが、異口同音とはいわないのと言われれば、あやまります。

